



# 由布市 YUFU CITY COUNCIL 議会だより

No. **82**  
2026年5月



歴代議員と共に

## Contents

- 令和8年第1回定例会
  - 令和8年度当初予算概要 ..... 1～2
  - 令和8年度当初予算質疑 ..... 3～4
  - 定例会概要（当初予算以外） ..... 5
  - 議案質疑（当初予算以外） ..... 5～6
  - 常任委員会報告 ..... 7～9
- 市政を問う（一般質問） ..... 10～13
- 表紙写真の募集 ..... 13
- 由布市議会20周年記念式典 ..... 13
- 各種報告 ..... 14
- 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 … 裏表紙

# 将来を見据えた、

## 令和8年度 一般会計当初予算

前年比 25億3,672万円増

### 一般

#### 安全・安心で、地域が活気に満ちたまちの推進

由布市に住みたい事業

### 3,946万円



移住支援金、移住応援交付金、由布市移住促進事業補助金ほか

#### こどもの未来を育むまちの推進

物価高騰緊急対応事業

### 1,394万円



由布市すくすくおむつクーポン券配布事業助成金ほか

児童虐待防止対策等総合支援事業

### 345万円



ヤングケアラー等対策推進事業

地域生活支援事業

### 1,162万円



成年後見制度推進事業

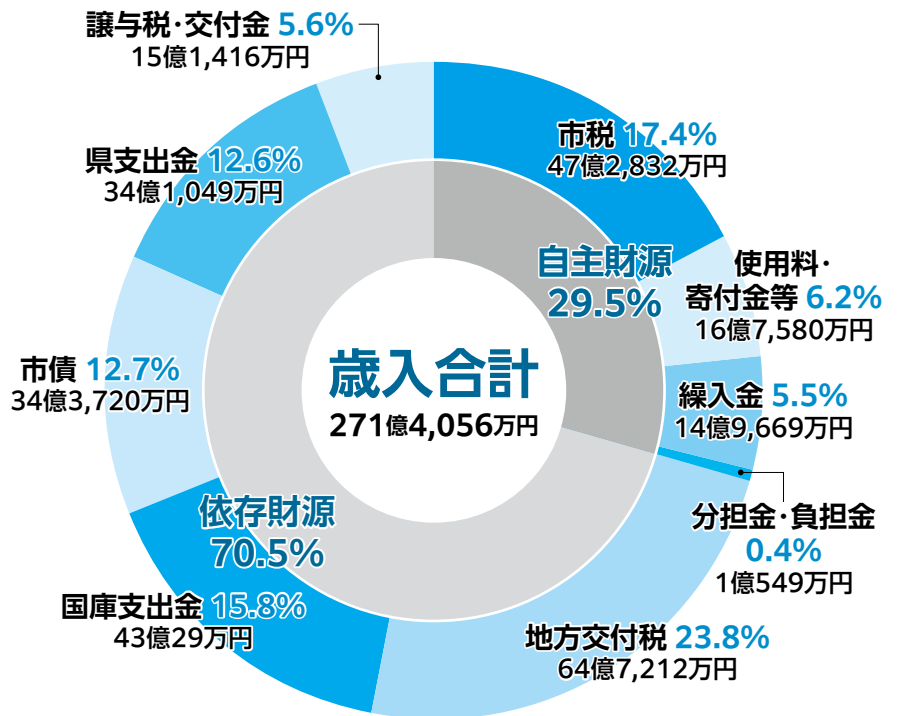
クアオルト推進事業

### 265万円



日本クアオルト協議会大会開催地負担金ほか

### 市に入るお金



自主財源：市の自主的な収入  
依存財源：国・県から交付されるお金

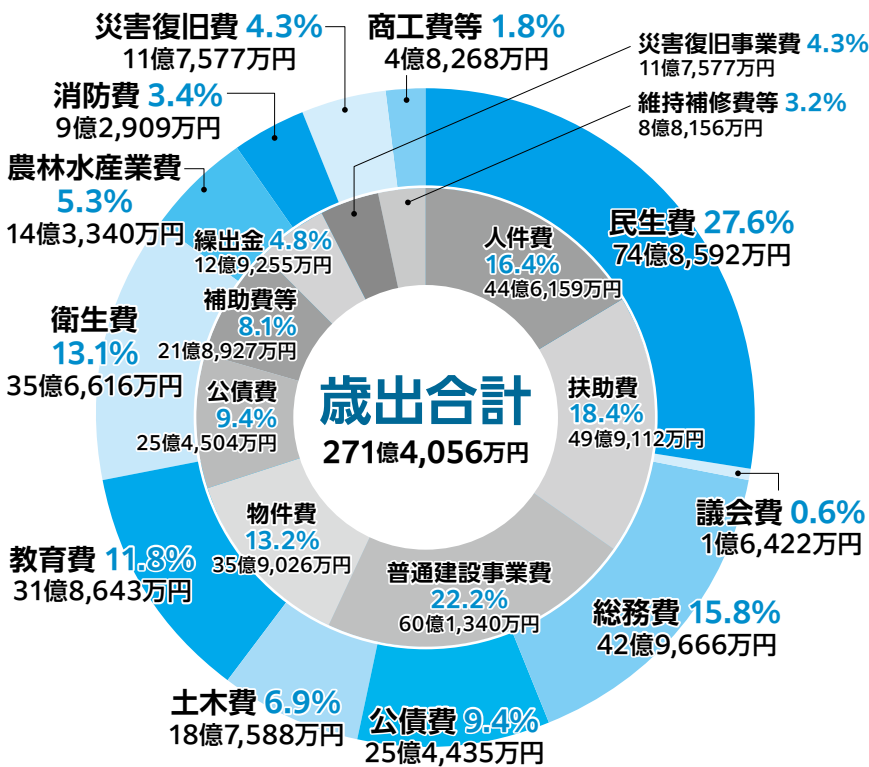
#### 誰もが健康で、いきいきと元気に暮らせるまちの推進

# 持続可能な財政運営を

## 271億4,056万円を可決

### 会計

#### 使いみち



#### 産業が活力と魅力あふれるまちの推進

##### 観光振興事業

### 1,871万円



観光計画等策定支援補助金・別府由布観光連携協議会負担金ほか

##### 物価高騰緊急対応事業

### 2,766万円



農畜産業再生産緊急対策事業補助金

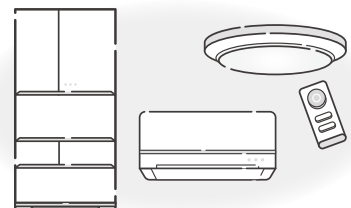
#### 【令和8年度の各会計の予算額】

会計名	令和8年度当初予算額	前年比
一般会計	271億4,056万円	25億3,672万円
特別会計		
国民健康保険	37億8,089万円	△3,259万円
介護保険	43億533万円	2,006万円
後期高齢者医療	8億1,445万円	1億3,699万円
計	360億4,123万円	26億6,118万円
農業集落排水事業		
収益的収入	8,849万円	718万円
収益的支出	1億283万円	202万円
資本的収入	4,866万円	506万円
資本的支出	4,866万円	506万円
水道事業		
収益的収入	9億2,050万円	3,929万円
収益的支出	9億800万円	4,989万円
資本的収入	11億4,942万円	5億6,799万円
資本的支出	15億45万円	6億1,283万円

#### 自然環境を維持した住みよいまちの推進

##### 物価高騰緊急対応事業

### 2,000万円



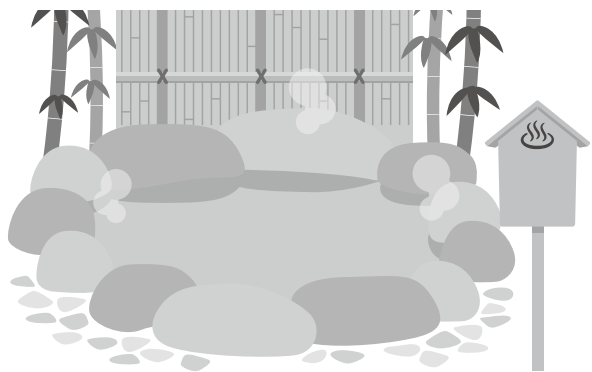
省エネ家電製品等購入費補助金

# 令和8年度 当初予算 質疑

## 税務・財政

**Q** 宿泊施設が新しくオープンするなど増えているのに、入湯税の予算が前年より減額されている理由は。外国からの観光客なども多いのではないかと。

**A** 入湯税は宿泊施設そのものではなく「鉱泉浴場」に課税されるもの。日中関係の緊張による中国人観光客の減少など、不確定な要素を考慮し楽観的になりすぎないようにシビアに見積もって減額としている。



## 観光・商工・経済

**Q** グリーンスローモビリティ（観光バス「ノルク」）の効果と今後の維持費等は。

**A** 観光に特化して運行し、雨天対応や環境配慮の面で評価を得ている。導入から8年経過しバッテリー交換に約200万円かかるが、関係団体のコンソーシアム<sup>注①</sup>内で対応できる見込み。

**Q** クアオルト推進事業の目的や実績は。

**A** 景観や温泉を活用した健康保養地づくりの推進が目的。本年度は全国大会の開催負担金等を計上しており、健康ウォーキング等に取り組んでいる。

## 移住定住・まちづくり

**Q** 移住者は増えているのに移住支援事業予算が減額されている理由は。モデル事例のPR等はないか。

**A** 県の補助金制度の申請締切りが前倒しになった影響と、前年度の実績に合わせたため。新たに雇用した地域おこし協力隊を通じて、空き家改修の事例などを今後積極的に発信する。

**Q** 湯平温泉復興まちづくり推進事業の工事内容は。

**A** 避難路を兼ねた遊歩道の整備、人道橋の架設、緊急避難所広場の整備を行う。

**Q** 金鱗湖魅力湧出事業の具体的な事業内容と、地域住民を巻き込んだ環境整備についての考えは。

**A** 土砂の堆積による水深の低下や悪臭、外来種問題の解決に向け、来年度は調査や浚渫（しゅんせつ）<sup>注②</sup>工事の計画策定を行い、2年目以降に工事等に着手する4か年計画。この取り組みは行政主導ではなく、地域団体等が主体となるコンソーシアムに県や市がオブザーバーとして参加し、協働で金鱗湖の再生に取り組む。

## インフラ・交通・環境

**Q** 向之原駅前広場整備事業の進捗と計画は。

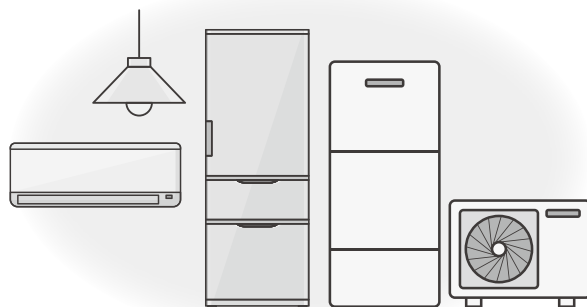
**A** 渋滞緩和のため駅東側の駐車場を利用してロータリーを整備する。令和8年度中の完成を目指しており、県道の改良工事はその後複数年かかる見込み。

**Q** 交通安全施設の整備箇所数と、危険箇所への対応策は。

**A** 挟間2か所、庄内6か所、湯布院5か所の設置を予定している。予算不足で全要望には応えられていませんが、優先順位をつけて対応していく。

**Q** 省エネ家電製品等購入補助金の対象製品と補助額は。

**A** 省エネ基準達成率100%以上のLED照明（上限3万円）、エアコン・冷蔵庫（上限5万円）、給湯器（上限10万円）に対し、購入費の3分の1を補助する。



## 農林業

**Q** 梨団地（園芸産地整備事業）による下流域への排水の安全性と調整池の設置は。

**A** 県主体の事業であり、県の排水流量検討により安全性は確認している。調整池を設置する予定は現在ありません。

## 公共施設整備

**Q** スポーツセンターの使用料が減額された理由は。施設の今後の方向性は。

**A** 老朽化や食事提供の困難さから宿泊者が減少しているため。新たなコンセプトを基に、民間事業者へのサウンディング調査<sup>注③</sup>を実施し、中長期的な基本構想へと繋げる。



**Q** 公園長寿命化対策事業の工事内容は。

**A** 上原公園グラウンド（トイレ・フェンス等）の改修や、遊具の更新などを計画的に実施する。

**Q** 小学校施設整備事業（由布川小・石城小）の工事内容は。

**A** 児童増を見込んだ由布川小の教室増築、および石城小の長寿命化改修（理科室・家庭科室の分離・再配置等）を行う。体育館整備も順次進める予定。

## 福祉・医療・子育て

**Q** 生活困窮者地域づくり事業（居場所づくり）の補助内容と対象は。

**A** 既存機能の強化（10万円）や毎月の運営費（月上限3万円）を補助。現在は湯布院3か所、挾間2か所の事業所が対象。

**Q** 利用者支援事業（子育て支援課）の具体的な内容は。

**A** 保育施設の空き状況案内や手続サポートのほか、新たに「地域資源開拓コーディネーター」を配置し、関係機関のネットワーク作りを進める。

**Q** 児童虐待防止・ヤングケアラー対策の現状と取り組み内容は。

**A** 支援が必要な家庭へ週1回の弁当配布と見守りを実施している。ヤングケアラーは現在市の把握ゼロだが、小中学生へのオンラインアンケート等を実施し、早期発見・支援のシステムを構築する。

**Q** 救急安心センター（#7119）の利用状況は。

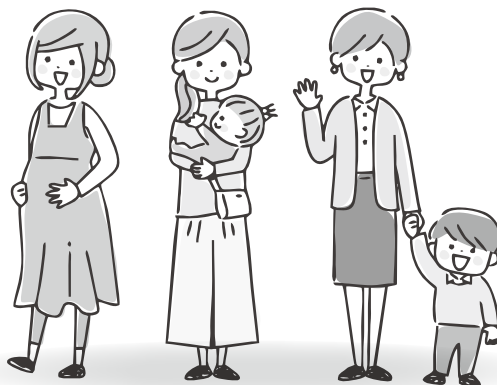
**A** 開設からの7か月間で由布市からは239件の利用があり、今後も広報等で周知を図る。

**Q** 不妊・不育症の助成実績や内容は。

**A** 不育症は近年実績がありません。不妊治療は保険適用外の先進医療費の自己負担分に対し、年間上限10万円を助成している（本年度9名実績）。

**Q** 利用者支援事業（健康増進課）の保健師の業務内容は。

**A** 妊娠期から子育て期までの母子保健の相談対応や、支援を要する妊産婦のサポートプラン策定などを行っている。



## 国民健康保険特別会計予算

**Q** 特定健診40歳前勧奨・早期介入の具体的な内容は。

**A** 将来の生活習慣病予防のため、受診率の低い19歳～39歳を対象に健診の個別通知や、希望者へのオンライン保健指導を実施する。

注①コンソーシアム：共通の目的を持つ「共同事業体」や「企業連合」のこと。

注②浚渫（しゅんせつ）：港湾や河川、湖沼などの水底に堆積した土砂やヘドロを機械（浚渫船）でさらい上げ、水深の確保や汚染物質の除去を行う工事。

注③サウンディング調査：自治体が公有地や施設の活用案を検討する際、早い段階で民間事業者と「個別対話」を行い、アイデアや市場性を聞き取る調査。

# 令和8年第1回由布市議会定例会概要

令和8年第1回定例会が2月25日から3月24日までの28日間開催されました。

今定例会で上程された事件として報告5件、諮問1件、承認1件、議案41件、発議3件、請願1件、陳情2件を審議し、請願は継続審査、陳情2件は不採択、発議2件は継続審査、議案等は全て原案通りに承認、可決、同意されました。当初予算を除く概要は下記の通りです。

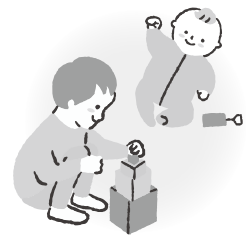
## 主な提出議案

### 副市長の選任

副市長 古長 誠之（こちょう せいじ）（前 総務課長）

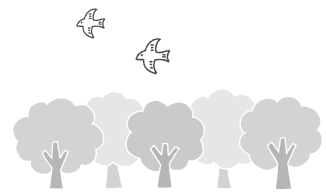
### その他の議案

- 由布市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について  
こども誰でも通園制度の本格実施に伴いルールを条例として定める。
- 由布市市長・職員に関する条例の一部改正について  
市の財政状況を鑑み市長・職員の給料の減額をする。
- 由布市督促手数料及び延滞金条例の一部改正について  
納期限後に納付する場合年14.6パーセント（当該納期限の翌日から1か月を経過する日までの期間については年7.3パーセント）の割合を乗じて計算した金額に相当する延滞金額を加算して納付しなければならない。



### 請願・陳情

- 請願7（令和7年受付）「有害鳥獣捕獲報奨金の増額」に関する請願書  
継続審査
- 陳情1「便利で合理的なコミュニティバス運行体制を再構築」に関する陳情書  
不採択
- 陳情2「遠距離通学する子育て世代の要望に沿う、便利で合理的なスクール送迎の運行」に関する陳情書  
不採択  
市はすでに公共交通の改善に取り組んでいることから今回の提案の必要性が低いと判断した。



### 人権擁護委員の推薦

令和8年6月30日をもって任期満了となるため  
木戸 栄子（きど えいこ）（再・湯布院）

## 議案質疑

### 専決処分の報告について（ごみ収集車の事故について）

- Q 事故を起こした車両は委託業者のものではないのか。また、損害賠償はどうなるのか。
- A ごみ収集業務を委託している業者に貸与している市の車両であり、市の加入する共済の範囲内で市が損害賠償を行う。
- Q 古くなった車両の切り替え時はどうするのか。
- A 古くなって使えなくなった車両を市が新たに供給することは考えておらず、令和8年度からの長期契約では委託業者が保険をかけ修繕する形になる。

### 辺地に係る公共的施設の総合整備計画について

- Q 令和3年～7年の計画の実行率と、今回の計画への反映はどうなっているか。
- A 実行率は32%（50事業中16事業を実施）であり、未実施の事業は今回の計画に引き続き反映している。
- Q 辺地債・過疎債は消防団のドライブレコーダー設置に使えるか。
- A 車両の入れ替え時などに仕様書に上げれば問題ないと思われるが、今から既存の車両全てに後付けする場合は対象にならないと考えられる。

## 由布市寡婦医療費助成に関する条例の廃止について

- Q** 条例廃止の経緯と事業内容はどのようなものか。
- A** 60歳以上75歳未満の婚姻状態にない女子に対し、医療費自己負担額の3分の1を助成する市単独事業だが、医療保険や他の支援制度の充実、公平性の観点から役割を終えたと判断し廃止する。
- Q** 対象となる人数と、廃止に伴う救済措置はどうか。
- A** 廃止により影響を受けるのは現時点で24名であり、生活への影響が大きい方には一人一人に寄り添い他の支援策を検討する。

## 由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

- Q** 減額される総額、職員の承諾の有無、および他市町村と比べた給与水準はどうなっているか。
- A** 減額の総額は約1,200万円で、職員組合の理解を得ている。由布市は平均年齢が若いため平均給料月額は低めだが、国家公務員と対比したラスパイレシ指数<sup>注④</sup>(101.4)では県内自治体で大分市に次いで高い。
- Q** 減額に至った経緯は。他の事業費を削るべきではないか。
- A** 厳しい財政状況の中で無駄な部分を削った予算とした上で、職員としてできることとして同意を得て減額措置をとった。

## 由布市立学校施設等の管理に関する条例等の一部改正について

- Q** 使用料の見直しによる増収見込み額とその算出根拠は。
- A** 対象となる105施設で約400万円の増収見込みであり、各担当課(11課)で試算を行った。

## 由布市湯布院健康温泉館条例の一部改正について

- Q** これまで回数券に関する条例規定がなかったのか。過去の徴収額と法的根拠、返還義務についてはどう考えているか。
- A** 条例上の「減免規定(10回分で2回分免除)」に基づいて運用してきたため法的根拠はあるが、より分かりやすくするために今回条例に明記する。対価としての実質的な均衡が保たれており返還は要しない。なお、過去14年間の徴収額は約803万円である。

## 市道路線(並柳東ノ下線)の廃止について

- Q** 令和5年に同様の請願が却下された時と、今回の案件の違いは何か。
- A** 今回は具体的な計画や必要な協議が完了しており、道路管理者として周辺環境や利用実態等を総合的に検討した結果、廃止が可能であると判断した点が異なる。

## 令和7年度由布市一般会計補正予算(第8号)

- Q** (ゆふいん道の駅整備事業) 繰越事業だが、入札不調や物価高騰などの要素は加味されているか。
- A** 不調等の事象が発生した場合は、国庫事業であるため県や九州財務局と協議して適宜迅速に対策を練っていく。
- Q** (病児・病後児保育事業) 他市での広域利用の割合はどのようになっているか。
- A** 令和6年実績では、大分市148名、別府市28名となっている。
- Q** (物価高騰緊急対応事業) 50%のプレミアム商品券について、1人何冊買えるのか、募集時期や注意点は。
- A** 購入限度額は検討中だが、希望する市民に最低1セットは行き渡るよう調整し、6月に抽選を行う予定。紙2万冊、電子1万冊の計3万冊を発行する。



## 発議第1号 由布市における水源保全のための土壌規制条例の制定について

- Q** この条例案の目的は何か。
- 発議者** 由布市は地下水や湧水に依存している地域であり、土壌による浸出液が水源へ影響する可能性を踏まえ、水源保全と公衆衛生の観点から予防的に制度を整備するもの。
- Q** なぜ新たな条例が必要なのか。
- 発議者** 既存の墓地関連条例は管理が主目的であり、水源保全の観点から十分でないため補完が必要。
- Q** 市民的意见や専門的検討は行われたか。
- 発議者** 議員提案条例のためパブリックコメントは実施されておらず、事前の専門家との正式協議も行われていないが、議会審議の中で議論が行われている。

## 発議第2号 由布市公衆衛生審議会設置条例の制定について

- Q** 公衆衛生審議会の役割は何か。
- 発議者** 墓地や土壌に関する判断にあたり、公衆衛生・水源・地盤・法律など多分野の専門家の意見を得るための助言機関として設置するもの。
- Q** 既存の審議会との関係はどう整理されるのか。
- 発議者** 環境保全審議会等との役割の違いが説明された一方で、機能の整理については今後の検討課題。
- Q** 制度面での課題は何か。
- 発議者** 規制の根拠や必要性、専門家関与のあり方、市民理解の形成、既存制度との整合性などについて、引き続き慎重な検討が必要との意見が出た。

注④ラスパイレシ指数：地方公務員の学歴・経験年数別の人員構成を、国家公務員と同一と仮定し、国家公務員を100として算出する。

## 総務常任委員会

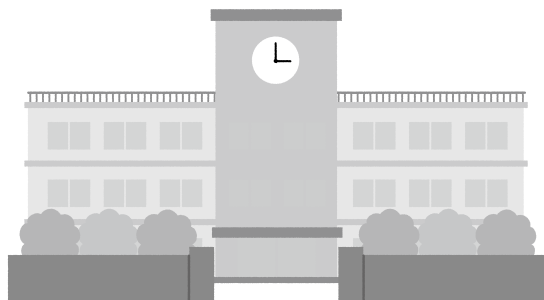
## 令和7年度由布市一般会計補正予算（第8号）

地域活力創造事業では利用したい団体が少なく事業に対する補助上限額に達しなかった事や新たな申請が無かった為の執行残による減額補正となる。

この事業については地域振興の為の有意義な財源と言えるだけに貴重な機会を逃さぬように地域に対して積極的な募集や周知方法を工夫し確実な事業執行を行うように要望した。

## 由布市立学校施設等の管理に関する条例等の一部改正について

市制20年となる中、地域間で差異が生じていた市内105か所の公共施設の使用料体系を一括して見直し、料金の適正化と区分の統一を図るもの。



合併時の平成17年を基準とした消費者物価指数の上昇率に基づき、現行料金の1.13倍を基本として算定し、区分の多くを1時間単位へ統一する。

また「年会費制」の廃止、市外利用者の負担についても議論した。

委員会からは、この改定により市民生活に影響が及ぶことからHPや市報等あらゆる手段を講じて改定の趣旨を丁寧に周知する事を要望した。

## 由布市乙丸地区公民館の指定管理者の指定について

現在の指定管理が令和8年3月末で終了する事に伴い次期の指定管理者を求めるもので、令和8年4月1日から令和18年3月31日までの10年間乙丸地区公民館の管理運営を行う指定管理者として「乙丸区」を指定し、地域と行政が連携しコミュニティの拠点として適切な支援を継続する事を要望した。

その他、

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画について
  - 由布市過疎地域持続的発展計画の変更について
  - 佐伯市の公の施設を由布市の住民の利用に供させることに関する協議について
- など18議案を審議しました。

## 当初予算特別委員会 分科会報告

## 由布市に住みたいまちづくり事業

執行部よりこれまでの実績に基づいた予算の適正化と今後の戦略について説明を受けた。空き家バンク制度については物件所有者への対応や相談体制を継続して行う。

委員会からは自治委員等との連携と対応を求め、効果的なPRと定住率の向上に努めるよう要望した。



## 地域活力づくり総合事業（向之原駅前広場整備事業）

JR向之原駅前の安全性向上と円滑な交通処理を目的とした駅前整備計画であり、令和8年度から順次整備を行っていくもの。

駅前として人が集まり賑わいを感じられる場所づくりと適切な維持管理を求めた。また利便性の高い立地を活用し、看板設置等による広告収入の確保と工事期間中の安全確保に万全を期すよう要望した。

## 教育民生常任委員会

### 令和7年度由布市一般会計補正予算（第8号）

歳出の主なものとして、予防接種推進事業2,168万3千円の減額は、高齢者新型コロナワクチン予防接種における、接種者数の実績見込みによるもの。

学校給食センター管理事業622万6千円の減額は、給食調理員における人件費の実績見込みによるもの。

スポーツセンター施設管理事業172万2千円の減額は、湯布院スポーツセンター利用者の減少に伴う燃料費および光熱水費の実績見込みによるもの。

委員会からは、早期に利用者が増加に転じるべく、多方面からの意見も聴きながら、さらなる調査研究に努めるよう意見を付した。

### 令和7年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算からそれぞれ1億8,362万8千円を減額し、予算の総額を37億9,724万5千円とするもの。

### 令和7年度由布市介護保険特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算からそれぞれ912万3千円を減額し、予算の総額を43億7,094万6千円とするもの。

### 令和7年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算からそれぞれ4,834万7千円を減額し、予算の総額を6億3,253万2千円とするもの。

### 由布市寡婦医療費助成に関する条例の廃止について

社会保障制度及び就労環境の充実に伴い、制定から30年以上が経過し、市民間の公平性を図るために条例を廃止する。また対象者への周知期間を確保するため、施行日を令和9年4月1日とする経過措置を設けます。

### 由布市湯布院健康温泉館条例の一部改正について

現在健康温泉館の取り扱っている回数券について、同条例に規定し、令和8年10月1日よりその料金を改定するもの。委員からは、回数券の根拠が明文化されていなかった点は適切ではなかったのではとの意見が出た。

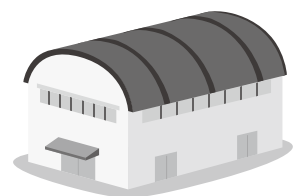
委員会として、今後は本施設のみならず他施設も含め、使用料等を徴収する場合は、根拠を明確に規定すべきであるとの意見を付した。

### 由布市国民健康保険税条例の一部改正について

令和8年4月1日から国民健康保険税として新たに「子ども・子育て支援納付金」が徴収されることから、その納付に要する費用に充てるため保険税の賦課基準に係る規定等について、所要の改正を行なうもの。

### 由布市立学校施設等の管理に関する条例の一部改正について

挟間中学校体育館に冷暖房設備が新設されることに伴い、中学校体育館における同設備の使用料を定めるもの。



## 当初予算特別委員会

### 分科会報告

予算特別委員会（全体会）での質疑を経た結果、教育民生常任委員会分科会において特段の審査を要する案件はなしと確認した。

分科会からは、各担当課においては、全体会において指摘を受けた事項を重く受け止め、十分留意のうえ予算執行にあたるよう意見を付す。

## 産業建設常任委員会

## 令和7年度由布市一般会計補正予算(第8号)

物価高騰緊急対応事業委託料6,055万3千円の増額は、プレミアム付商品券発行支援業務において、プレミアム率を30%から50%へ引き上げたことに伴うプレミアム分および事務費の増によるもの。

都市計画事業委託料604万7千円の減額は、大規模盛土造成地変動予測調査業務の入札残によるもの。

委員会からは、物価高騰対策については市民に広く行き渡るよう配慮すること、また盛土調査の結果について市民へ分かりやすく説明していただきたいとの意見が出た。

## 令和7年度由布市農業集落排水事業会計補正予算(第3号)

収益的収入を433万9千円減額し8,849万1千円とし、収益的支出を383万9千円減額し1億693万4千円とするもの。

補正の主な内容は、入札および事業実績に伴う減額によるもの。

## 令和7年度由布市水道事業会計補正予算(第4号)

収益的収入を49万円増額し8億8,849万9千円、収益的支出を30万円増額し8億8,620万5千円とするもの。

また、資本的収入を4,560万円減額し7億1,234万7千円、資本的支出を9,528万円減額し10億302万7千円とするもの。

補正の主な内容は、入札および事業実績に伴う減額によるもの。

## 由布市水道事業給水条例の一部改正について

災害その他非常時に給水装置工事を行うことができる者の例外を定めるとともに、平常時においても職員による給水装置工事を可能とするため所要の改正を行うもの。災害時の早期復旧を目的とした改正。

## 市道路線(若杉5号線)の認定について

県道安心院湯布院線の旧道移管に伴い、市道として管理するもの。

委員からは、旧道移管の際には整備された状態で引き渡しを受けるよう求める意見が出た。

## 市道路線(並柳東ノ下線)の廃止について

市道としての路線を廃止するもの。

委員からは、市道廃止の基準をより明確にするよう求める意見が出た。

## 〔発議1号〕由布市における水源保全のための土葬規制条例の制定について

公衆衛生および水源・泉源保全の観点から土葬を規制する条例案。多くの意見が出されたため、さらに意見を収集する必要があるとして継続審査とした。

## 〔発議2号〕由布市公衆衛生審議会設置条例の制定について

墓地等の設置について専門家による第三者的審査を制度化し、許可判断の客観性と透明性を高めるため公衆衛生審議会を設置する条例案。多くの意見が出されたため、継続審査とした。

## 当初予算特別委員会

## 分科会報告

園芸産地づくり支援事業費補助金については、園芸産地整備事業として2工区の整備を行い、それぞれの工区に排水路を設置する計画との説明を受けました。放流先の地元住民とは放流条件を設定したうえで承諾を得ており、側溝断面積の改修

も行っていることから、降雨量計算の結果、調水池の設置は必要ない。

浄化槽設置整備事業補助金については、来年度の新築・改築分として200件分の予算が計上されています。200件の申請があった場合でも普及率の伸びは約1.25%にとどまることから、委員からは水質保全の観点から今後も継続的な予算確保が必要であるとの意見が出た。

一般質問

# 市政を問う

- 吉村 益則 議員  
「下湯平中川線について」 他
- 加藤 幸雄 議員  
「観光公害について」 他
- 津田 貴之 議員  
「市内全体の治水対策の再構築と広域連携について」 他
- 坂本 光広 議員  
「ドライブレコーダーの搭載について、九州大会等出場の激励金について」
- 生野 友子 議員  
「本市のファミリーサポート・センター事業の充実と利便性促進に向けた施策について」
- 加藤 裕三 議員  
「燃やせないごみの有料化について」 他
- 梶野 けさ子 議員  
「令和8年度予算について」
- 渡辺 彬 議員  
「自治体アプリや地域通貨の活用は進むのか」 他
- 佐藤 郁夫 議員  
「由布市庄内地域の振興について」 他
- 鷺野 弘一 議員  
「国道210号早期改良に向けた市の考え方について」
- 小山 和義 議員  
「地域公共交通の今後の取り組みは」 他
- 高田 龍也 議員  
「水資源の保全について」



「下湯平中川線について」  
他

吉村 益則 議員

Q 防災減災について。

A 情報発信として行政情報告知システムを運用し災害情報や避難情報を一斉かつ迅速に行うと共に今後は災害時の対応の迅速化と効率化の為被災者台帳システムなどのデジタル技術を活用していく。また、防災知識の普及啓発活動について地域での防災講話や学校等での防災教育にも取り組んで行く。県とは大分県防災対策推進協議会などの会議を通じ連携を深めると共に緊急防災減災事業債の事業期間が延長されたので積極的な活用にも取り組む。

Q 下湯平中川線について。

A これまで利用できる財源の問題があり工事着手とならなかったが今回は防衛事業で行う。生活道路としてだけでなく国道が被災した際の代替路としての役割も担う道路と認識している。現在土地の境界確定と用地測量を実施しているが令和8年度は不動産鑑定を行い早期に用地取得に着手する。

※その他スポーツ振興についても伺いました。



「観光公害について」 他

加藤 幸雄 議員

Q 観光客が多くて、困っている地域住民への支援は。

A 災害や公的利用等の支援はあるが、現行では支援の方法はありません。

Q トイレの問題について。

A トイレの問題は調査を行っています。どのようなトイレが必要なのか等早い時期にトイレの問題は対応します。

Q 別府市との観光提携について。

A 日本を代表する温泉地です。2市で手を組んで観光PR等、世界に発信できる観光地を目指します。

Q 潤いのあるまちづくり条例の見直しについて。昔より規制が緩和されたのか。また、泉源の動力装置の制限は。

A 平成初頭にリゾートマンションの開発計画や大規模な宿泊施設建設計画に対応するために平成2年に制定され、現在に至るまで運用されています。国の建築基準法、都市景観法、盛り土規制法など、条例制定当時より一層厳格化されています。温泉に使用される装置の動力は温泉保護等を目的とした大分県温泉法施工条例により、動力装置は、毎分50Lという制限があります。



「市内全体の治水対策の再構築と広域連携について」 他

津田 貴之 議員

Q 市内全体の治水対策の再構築と広域連携について。

A 近年の宅地化の進行に伴い雨水が地下へ浸透する機能が減り、水路への流出量が増加し浸水リスクが高まっているのは認識している。大分河川国道事務所、大分県の土木事務所が一堂に会して協議会を開催した。今後も関係機関と連携を強化し安全なまちづくりに努める。

Q 由布高校の生徒確保対策について。

A 担当課としても非常に心配をしている。対策として市内中学生向けの部活動連携や生徒のニーズに合わせた資格取得の専門性つける学習も検討中。県教委と連携をとって新たな取組を今後につなげていきたいと考えていく。

Q 商工業振興に資するデジタル行政サービスの整備について。

A 子育てや介護関係の手続きなどを中心に進めており、補助金申請のような法や条例、規則に基づく手続きについては課題も多く、可能なものから順次オンライン化を進めていく。





「ドライブレコーダーの搭載について、九州大会等出場の激励金について」

**坂本 光広 議員**

**Q** 公用車のドライブレコーダーの搭載を事故対応の早期解決、安全意識の向上のために早期の搭載を考えてほしい。特に消防、消防団車両を優先できないか？

**A** 公用車のドライブレコーダーの設置は、令和4年度より公用車の入れ替えに伴い設置しております。消防車両は、全車両に設置しています。消防団車両については、本年度導入の3台より搭載していきます。予算、維持管理の面から走行距離の行くような車両等を踏まえ車両の入れ替え時に搭載して行きたいと思っております。

**Q** 由布市在住の生徒が九州大会等に出場するときの激励金について市外のクラブチームに所属する場合はどうか？

**A** 由布市以外のチームに所属し九州大会等出場した際の激励金は、現在のところ対象になっていません。令和8年度から所属チームの住所に関係なく、由布市在住の生徒であれば、激励金の対象として支援していきます。

※その他、庄内梨の振興について、野良犬、野良猫の対策について質問しました。



「本市のファミリーサポート・センター事業の充実と利便性促進に向けた施策について」

**生野 友子 議員**

**Q** 本市のファミリーサポート事業における依頼会員の費用軽減や援助会員の報酬引き上げ、援助会員不足の対策などその現状と課題について。

**A** 現在の利用料（一時間600円～700円）は近隣自治体と同水準である。今後、公的補助制度の導入が可能か先行自治体の事例を研究する。また、報告書提出のオンライン化や公共施設での預かり場所拡大等会員の負担軽減に取り組んでいく。送迎は主に自家用車で行われており現在加入している地域子育て支援補償保険に加えさらなる安全確保を早急に図る。今後も広報強化や研修を重ね、援助会員確保と本事業の意義を粘り強く周知していく。その他ファミリーサポートセンターである山家学園（児童養護施設）のファミリーサポート事業以外の子育て短期支援事業についてその紹介と説明を求めました。



「燃やせないごみの有料化について」他

**加藤 裕三 議員**

**Q** 「燃やせないごみの有料化」について。

**A** 4月から有料化となる燃やせないごみ袋のデザインを同一にした主な理由はコストの削減と管理負担の軽減。周知は市報、周知文書、ごみカレンダーで行う。分別できていないものについては収集できない。

**Q** フリースクール等利用の支援補助について。

**A** 不登校生徒への支援を拡大している。例えば、スクールカウンセラー5名の配置や保護者対応を行っている。また、無料で利用できる「由布市教育支援センターコスモス」を開設し、学校内外での居場所づくりを進めている。支援制度は無いが、「学校子ども支援センター」で支援を行う。

**Q** 由布市公共施設等総合管理計画について。

**A** 令和37年度には公共施設の延床面積を30%減の目標で計画を進めている。インフラ系においては、補修計画等を基に進める。人口減少等見込まれる中、統廃合、機能転換等、財政負担軽減及び平準化を図り適正に管理を進める。

※その他「白滝団地の跡地利用について」。



「令和8年度予算について」

**湊野 けさ子 議員**

**Q** 令和8年度予算について、新年度予算が例年より遅れる可能性が指摘されている。万が一予算成立が遅れた時の市の財源対応を想定したか。

**A** 国の令和8年度予算に組み込まれている政策的予算が遅れる事により、市民生活に影響は、年収の壁178万への引き上げや、自動車税の環境性能割の廃止、軽油の暫定税率の廃止等の実施が遅れる事が見込まれる。市においても国庫補助事業は国の予算と連動するため、交付決定が遅れる事により事業着手の遅れや地方交付税等の決定が遅れる事が懸念される。特に学校施設の増築や大規模改造は令和8年度内完成を予定しており、工期の見直しが必要となる場合が想定される。速やかな発注、工法の見直し等を行い、影響が発生しないよう努力している。

※中学校でのいじめについて質問しました。

※学校給食について、国より小学生1人につき月5,200円と通知があったことにより前年より18.5%の予算を幼小中に計上しているため、内容も充実すると期待している。



「自治体アプリや地域通貨の活用は進むのか」他

渡辺 彬 議員

**Q** 自治体アプリや地域通貨の活用は進むのか。

**A** 地域通貨は経済循環の効果がある一方、維持費や利用継続が課題。現在は「ゆふPay」によるプレミアム商品券を実施しており、通年運用については費用対効果を見ながら慎重に検討する。また、各媒体の連携については「十分に構築できていない」と認識している。

**Q** 産前産後ケアは利用しやすい体制か。

**A** 電子申請は導入しているが、体調確認や支援調整のため電話連絡を併用している。簡素化については今後検討する。民間助産院についても活用しているが、受入状況の詳細把握は限定的で、今後の体制づくりに努める。

**Q** 挟間地域の道路整備の見通しは。

**A** 緊急性や必要性に応じて優先順位を付け整備しており、現時点で23路線が順番待ちの状況。危険箇所にはミラーや標識設置等に対応し、通学路も関係機関と連携し安全対策を進めている。



「由布市庄内地域の振興について」他

佐藤 郁夫 議員

**Q** 男池や黒岳、龍昇の滝など豊かな観光資源を活用した活性化の取組みについて。

**A** 周遊観光に係る具体的施策で、市内周遊スタンプラリー事業と市内周遊観光バスツアー助成事業をしました。観光客数は、令和6年度で約11万5,000人です。近年若干増加しています。

**Q** 由布市幼稚園、小中学校の規模及び配置の適正化について。市教委が2030年度まで、庄内地域に小中一貫校を設置したい考えを地区説明会で明らかにしたことについて、市民の反応や今後の方針を聞く。

**A** 賛成、反対いろいろな意見をもらった。特色ある学校について具体的な取組み内容を整理し、多くの話し合いの場を設け、丁寧な説明をしていきたい。

※その他、由布市農業成長産業化推進本部の取組み、由布市農業サポートセンターの取組み、庄内町国道210号線沿いにショッピングモールやドライブスルー機能を持った飲食店等の誘致など質問しました。



「国道210号早期改良に向けた市の考え方について」

鷲野 弘一 議員

**Q** 国道210号は平成19年県管理から国直轄となったが、現在は大分市と連携で九州整備局・国交省に要望活動を行っているが、1番の本丸である挟間三差路（医大バイパス入口）渋滞対策解消に向けた、国直轄に対しての由布市独自の活動、計画案について問う。

**A** 210号の改良は、平成24年に田原地区1.1キロ、平成28年より横瀬地区1.5キロが現在事業中です。市内においては平成29年より下武宮交差点から後田歩道橋までの1.1キロの登坂車線事業が大分事業所事業で進行していますがまだ半分のため残りを早く終わらせて、新規の横瀬地区から由布市内に入る計画を国交省はじめ九州国道事務所・大分河川国道事務所にその旨を十分に説明し粘り強く要望してまいります。



「地域公共交通の今後の取組みは」他

小山 和義 議員

**Q** 地域公共交通の今後の取組みは。

**A** 現状の交通動態や市民ニーズを的確に把握した上で、公共交通の利用促進に向け運行形態の見直しやタクシー会社との連携によるデマンド化必要に応じたルートの検討を行い高齢者の外出支援買い物支援などを踏まえ福祉や医療教育商工分野等の連携した横断的な施策を推進し利便性持続可能な高い地域公共交通ネットワークの再構築。

**Q** 合併後の農地・農業者の推移と今後の取組みは。  
**A** 15年間で耕作面積は30%減少しているが、新規就農者はR2～R6で36名年平均7.2人います。今後も就農フェアに積極的に参加しファーマーズスクール等で研修を重ね就農へのフォローアップ。

**Q** 水道の地震対策は。  
**A** 日本水道協会に要請を行い大分県内外の会員に応急給水支援をお願いします。

**Q** 老人介護・認知症対策は。  
**A** 地域共助の推進・医療介護サービス等の質の向上・認知症安心ガイドの配布・認知症カフェを支援し、職員も参加。



### 「水資源の保全について」

**高田 龍也 議員**

**Q** 由布市は地下水・河川水・湧水・温泉など多様な水資源に支えられている。土葬など土壌や地下水に関わる行為について、水資源保全の観点からどのように位置付けているのか。また、湧水や温泉への影響評価や距離基準、土質などの基準はあるのか。

**A** (市長) 湧水や温泉は市民生活と観光を支える重要な資源であり、市としても保全の重要性を認識している。関係機関と連携しながら適切な管理に努めており、来年度は大分県と連携した温泉資源調査を予定している。



**A** (環境課長) 墓地設置は法令や市条例に基づき許可している。湧水や温泉からの具体的な距離基準は設けていないが、事前協議や住民説明を確認し、環境への影響が懸念される場合は許可しないこともある。関係課とも情報共有して判断している。

※地下水や温泉は将来世代に引き継ぐべき重要な資源であり、科学的知見も踏まえ制度の在り方について今後も質疑していく。

## 「由布市議会だより」の表紙写真を募集中!



年4回(5月・8月・11月・2月)市内の全世帯に届けられる「由布市議会だより」表紙をあなたの写真で飾ってみませんか?

**募集する写真** 「由布市」をテーマとした、人物、四季折々の風景、お祭り、地域行事などの写真。

**応募方法** 市議会ホームページ、議会だよりのページにある受付フォームに沿って必要事項を入力し、応募することができます。

**応募締切日** 次回、8月発刊号の表紙写真応募の締切日は令和8年7月10日です。

※応募条件、応募上の注意点、選考方法等の詳細については「募集要領」をご覧ください。



応募フォーム、募集要領についてはこちらから



(市議会HPへのリンク)



# 由布市議会20周年記念式典

由布市議会20周年記念式典が2月18日、由布市役所本庁舎の議場で開催されました。

当日は歴代議員や現職議員、首藤奉文初代由布市長など42人が出席し、初代議長の後藤憲次さんの講話や、アトラクションとして「下村未央とRENTARO室内オーケストラ九州」の皆様による演奏が行われました。

当日はお忙しい中ご出席を賜りました皆様方に感謝し、今後もより一層開かれた議会となるよう努めてまいります。



開式の辞



来賓祝辞



来賓祝辞



式辞



記念品贈呈



講話



首藤初代由布市長と歴代議員



歴代議員



アトラクション



## 大分県後期高齢者医療広域連合議会 報告

## 令和8年第1回大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会

**日時** 令和8年2月19日 午後1時30分**会期** 1日間**場所** 大分市（大分県医師会館7階大会議室）**出席** 24名（定数26名）**事件及び審議結果**

## ●令和8年度大分県後期高齢者医療広域連合一般会計予算について

歳入歳出予算の総額を11億2,900万円とするもの。  
 歳入は、構成市町村からの事務負担金を9億2,368万2千円、財政調整基金からの繰入金金を1億9,166万5千円など。  
 歳出は、総務費を3億2,953万2千円、民生費の特別会計事務費繰入金金を7億9,347万1千円など。

## ●令和8年度大分県後期高齢者医療広域連合特別会計予算について

歳入歳出予算の総額を2,406億6,000万円とするもの。  
 歳入は、市町村支出金を440億1,792万3千円など。  
 歳出は、保険給付費2,372億4,209万円など。

## ●大分県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する

## る条例の一部改正について

子ども・子育て支援法等の改正に伴い、子ども・子育て支援納付金の賦課に関する規定を整備するとともに、令和8年度及び令和9年度の保険料率の改定等を行うもの。

## ●大分県後期高齢者医療広域連合職員等の旅費に関する条例の一部改正について

国家公務員等の旅費の改正に準じ、規定の整備を行うもの。

## ●大分県後期高齢者医療広域連合第5次広域計画の策定について

制度運営の現状と課題を踏まえ、令和8年度以降も、被保険者が安心して医療が受けられ、健康寿命の延伸を目指すとともに、持続可能な医療制度の実現を図るため、市町村、県、国及び関係団体と連携し、各種施策に取り組む基本方針として策定するもの。

上程された議案5件は、すべて可決されました。

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員 佐藤 郁夫

## 議員派遣に伴う研修報告

**日時** 令和8年2月7日（土）**場所** 福岡県福岡市博多区 リファレンス駅東ビル**研修の要旨及び活用**

研修では、議員活動の基礎として「市民の声に答えるスピード」と「寄り添う共感性」の重要性を学んだ。議会は首長と対等な必須機関であり、地方自治法に基づく議決権を理解し、市民福祉の向上を目的に活動することが議員の役割である。

一般質問の作り方について、具体的事例や数値に基づき、市民生活に直結した課題を取り上げ、実現可能な代替案を示すことの重要性を学んだ。一般質問は演説と尋問の中間に位置し、建設的な議論で政策を前進させるもの。市民が知るべき案件を周知させるもの。自身の経験や市民との対話を基に、根拠ある提案型質問の必要性を再認識した。

研修を通じ、地方議員としての責任の重さを再認識した。一般質問の質を高めるには、徹底したファクトチェックと財政データの理解が不可欠。今後は現状・原因・解決策を整理し、市民相談や現場調査を重視し、SNSで活動を可視化して信頼構築に努める。

地方議会議員としての基本的な役割および二元代表制の理解を深め、議会活動を効果的に行うための実践（一般質問の設計、情報収集、財政分析、発信、選挙戦略等）を学んだ。

小山 和義 生野 友子 渡辺 彬

**日時** 令和8年2月4日（水）**場所** 東京都新宿区西新宿 リファレンス大京ビル**研修内容**

- 令和8年度地方財政対策から読む自治体の未来
- 地方財政と人口減少対策の接点
- 孤独孤立対策と生活困窮者支援
- 財政と福祉を繋ぐ視点
- 孤独孤立対策基本法のインパクトと責務
- 財政を人との繋がりに生かす仕組み設計

**研修成果の活用**

人口減少と高齢化する時代を迎えても社会を十分に機能させて行かなければならない地方自治体には社会保障関連の経費の増加と一般財源の減少が生じていく。

この様な背景の中では家族、友人、地域と言った「人と人のつながり」身近なコミュニティの再建を推し進めていく必要がある。

子育て世代や高齢者を誰一人として取り残さない為にお互いが支え合う社会を目指し様々な取り組みが行われているが、孤独や孤立に悩む人たちの声は聞こえていないのかといった声なき声を対策や救済に繋げて行かなければならないと再認識した研修でした。

吉村 益則

令和8年第1回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願7 (令和7年受付)	「有害鳥獣捕獲報奨金の増額」に関する請願書	一般社団法人 JAPANハンティング協会 代表理事 三重野丈一	継続審査
陳情1	「便利で合理的なコミュニティバス運行体制を再構築」に関する陳情書	もっと便利なコミュニティバスを考える会 代表 千竈八重子	不採択
陳情2	「遠距離通学する子育て世代の要望に沿う、便利で合理的なスクール送迎の運行」に関する陳情書	もっと便利なコミュニティバスを考える会 代表 千竈八重子	不採択

賛否一覧表

[令和8年第1回定例会]

※○=賛成、●=反対、欠=欠席、除=除斥 議長（佐藤孝昭）は採決に加わらない。  
※その他の上程された議案等については、除斥・欠席者を除き、全員一致で承認・同意・可決した。  
※発議1・2については、継続審査。

議案名		議員名	議決結果	賛成	反対	佐藤孝昭	平松恵美男	佐藤人己	淵野けさ子	佐藤郁夫	長谷川建策	甲斐裕一	鷲野弘一	加藤幸雄	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也	小山和義	生野友子	津田貴之	渡辺彬
議案8	由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決	15:1	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案11	由布市立学校施設等の管理に関する条例等の一部改正について	原案可決	15:1	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案13	由布市湯布院健康温泉館条例の一部改正について	原案可決	14:2	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案23	市道路線（並柳東ノ下線）の廃止について	原案可決	15:1	-	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

編集後記

春は別れと出会いの季節です。桜の花に見守られて、卒園式・卒業式に入園式・入学式・入社式と各地で盛大に行われています。

私たち議員はこれからの由布市・日本を担ってくれる子どもさんや新社会人の方に出会い・出産・育児・子育て等の応援を行っています。

今、世界はAIが急速に進歩しています。近い将来AIを搭載したロボットが、企業を動かす日が来るかもしれません。楽しみでもあるし、不安でもあります。

私たちもAIの研究を行いながら、現在も進んでいる少子化、高齢化の中、今後20年、30年先も市民の方々が、安心・安全に由布市で暮らせるように、行政と力を合わせて日々努力して行きます。

加藤 幸雄

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されています。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

由布市議会ホームページ



由布市議会に関する情報を随時お届けします！

議会広報編集特別委員会

委員長	副委員長
高田 龍也	津田 貴之
委員	
鷲野 弘一	加藤 幸雄
田中 廣幸	吉村 益則
小山 和義	生野 友子
渡辺 彬	

次の由布市議会定例会は6月11日(木)に開会予定です。